



ぴっぴだより

No5, 2013. 7. 19

4月から仲間と育み合いながら過ごしてきた一学期が終わり、いよいよ夏休みです。夏休みが明けた9/28、29の2日間で長野県野外保育連盟主催の『森のようちえん』フェスティバル in 飯綱高原の開催を予定しています。「森のようちえんを多くの方に知って頂く」という思いから企画されました。そして長野県内の森のようちえんがそれぞれアイデアを持ち寄り計画を立てています。私もぴっぴで森の保育に携わるようになり「森のようちえん」「野外保育」を多くの方に知って頂きたいという思いは日に日に強くなっています。

森の中で一日過ごすということは、自然の中にあるものから自分で遊びを見つける事、草花や昆虫、木の葉や木の実を使って自分たちの発想で遊びを拵げていくことが出来ます。そして雨や雪の寒さの中にいると自然と衣服の調節をすることで「心地いい環境を自分で作る事が出来る」とわかるようになります。鳥の声や風の音に耳を傾ける時、森の空気の冷たさや温かさを肌で感じる時、自然に感覚(五感)が磨かれていきます。多くの森のようちえんは小さな集団であり、おおまい人と小はいと一輪に過ごすことが出来る縦割り保育が多いことも特色といえます。

もちろんこうした身体的なことや感覚的なことなども森のようちえんを多くの方に知って頂きたいと思われている理由の一つですが、もっと知って頂きたいのは「子ども同士の間わりを大切に出来る環境であること」「子どもひとりひとりがありのままに居ることが出来る環境であること」「子どものペースを守ることが出来る、待つことが出来る環境であること」も大きな特徴であるということなのです。

昨年の夏休みに汐見稔幸先生(白梅学園大学学長)の講演を聴きに行くことが出来ました。～日本で個性教育は出来るのか～キーワードは『個性』でした。

幼児期にひとりひとりが持っている個性を大切にすると、のちに自分に満足している子ども、自分を大切にできる子どもになります。「ありのままがいいよ」と受容された子は世の中のしきたりも守ろうとするはずですよ。みんな違っていいんだよ。というお話でした。そして最後に「森のようちえんのような保育がもっと増えていくといいね」と汐見先生がおっしゃっていたのが印象深く心に残っています。

子ども同士の関わり合いの時、自分の声かけはあれで良かったのか...ひとひとりの涙の理由をちゃんと理由が出来ていたのか...等々、日々子どもと向き合い、小出し(後向き)はげませられたり、大人も育てられているように感じます。「森のようちえん」はこんなに素敵な育ちの場所なのです。と伝えたいのです。夏休み、いかにたくさんの学びや蓄えが出来たらいいなと思っています。

子どもたち、ご家族の皆さんにとっても楽しい豊かな夏休みになりますように...

: 美穂

おおきくみだより

7月4日、おおきくみだよりは、おおきくくりさん(巧)の陶製のオカリタの絵付け、松ぼっくりさん(巧)がペイントボトルのマラカス作りをしました。松ぼっくりさんはペイントボトルの中に入れるものを探るにまずはお散歩。木の実はいろいろな時期がと見つけていたけれど、リスが半分は奪ったオウギの殻やリスがかりして細いエビアライにたいてマツボックリ、「あ、あれは?」と指さす木の葉にはマユミヤリツバネの青い実、いい香りの山椒やアブラチャンのまん丸の実もたくさん集めることが出来ました。カッコいい石を探すと夢中の男子たち、実際にペイントボトルを持ち歩き口から入れようとすると「あ、大きすぎて入れない...」と残念そうに顔の人もいます。それぞれ手に手に色々持ち帰り早速自分のマラカスの中に入れておきました。青い実とツバネの入れ物に悠太くん、「葉っぱをちぎって入れるとペイントボトル(の内部)にくっつきよと朝次朗くん、「砂利を入れるといい音がするねえ」と行人くんと俊輔くん。ペイントボトル外側には気に入った葉っぱを巻きたたり、折り紙に絵を描いて貼付けたり、見出しおもしろい絵が描かれた。出来上がったおまけは音が出るのかうれしくてジャカジャカ大音響でした。「じゃあ一人ずつ音を出してみようか?」「順番に名前を呼ばれた人が立って自分の前でマラカスの音を披露してやることにしました。色々順番に合わせ、「順番にジャカジャカ!」「ああいい音だねえ。」音争いがこの世の人の演奏を聴くことができ、おまけの口から次に感じたことが飛び出します。「大きい音!」「かわいい音。」それを「砂利が入っている」と強い音に聞こえる、ぼんという表現も。アートの時でもそうだが、この年齢でも松ぼっくりさん(巧)には「感じる心」、それを「表現する言葉」が育ってきています。自分(巧)がマラカス作り(巧)のものからは、さらにたくさん感じ表現する事が出来るかもしれません。

おおきくくりさん(巧)のオカリタも、絵の具だけで淡い色合いに塗ったり、ペンも使って力強い線を描いたり。それぞれ個性的に出来上がっていました。陶器の楽器(巧)で、優しくおまけのように打って、トウとロを叩きだして音を出すと、指の押さえる方(巧)やリカを聞いて、それぞれ音を出してあげよう。

オカリタが草花の絵を持って、次の週にはおおきくみだよりで「世界中の子ども(巧)と「パレード」の二曲、オカリタとマラカスの合奏をしました。張り切ったジャカジャカとマラカス大興奮の松ぼっくりさんもうたえよう。「パレード」の終盤、「誰だ?なにをばらばらちからか...」の曲調がゆっくりになるところは、オカリタもマラカスもぐっと優しい感じの音に変化。普段からたくさん歌うたいんでいるぴっぴの子ども(巧)は、それを楽器に持ちかえり、音を出しだして感じたりするが楽器でうたえたいことが出来るのでいいね。森の中に優しい音が響いたひとときとなりました。

: 美穂子



< 二学期の保育日 >

一学期のエピソード 少しでも...

- ・敬称略
- ・日付順

	月	火	水	木	金
9月		3 *1	4 *2	5 お	6 *3
	9 *4	10 *1	11 *2	12 *3	13 *4
	敬老 の日	17 *5	18 *6	19 *7	20 *8
10月	秋分 の日	24 *9	25 *10	26 *11	27 *12
	*10	30 *13	1 *14	2 *15	3 *16
	7 *17	8 *18	9 *19	10 *20	11 *21
	体育 の日	15 *22	16 *23	17 *24	18 *25
11月	文化の日 振替休日	22 *26	23 *27	24 *28	25 *29
	*15	5 *30	6 *31	7 *1	8 *2
	11 *3	12 *4	13 *5	14 *6	15 *7
	18 *8	19 *9	20 *10	21 *11	22 *12
12月	2 *13	3 *14	4 *15	5 *16	6 *17
	9 *18	10 *19	11 *20	12 *21	13 *22
	16 *23	17 *24	18 *25	19 *26	20 *27

- ひは ひっぴ 保育日
- おは おおきくお 保育日
- *1 入園説明会 10時～キャビン5
- *2 2学期 保育開始日
- *3 来年度 おおきくお 継続説明会
9:20～キャビン5
- *4 <リ> 大<リ> GP 清里キャンプ説明会
9:20～キャビン5
- *5~6 <リ> 大<リ> GP 清里キャンプ
- *5 松ぼっくり GP 通常保育
- *6 松ぼっくり・どんぐり GP 休園日
- *7 清里キャンプ 報告会 (予定)
9:20～
- *8 継続申し込み 締め切り日
- *9 保護者会
9:20～X12ホール
- *10 9月下旬～10月上旬 縮菊
- *11 お父さんとお母さんの森の時間 inピツ材
- *12 北澤 Dr. による 森の健診
- *13 木曜日 河が ひっぴ 保育日。
ラマあり。
松木正 7-7 エキップ
9:30～X12ホール
- *14 金曜日 河が おおきくお 保育日。

- ② スタッフ
- ④ 422W
- ① 122W

ⓐとⓑが土を掘っていた時、地面に置いたシャベルをⓐが落とすのでⓑが拾ってあげた。ⓑが「あ...」と声をあげたが何も言わなかった。ⓐ「使っているから、使っているよと声をかけていいよ。どんぐりも少しづつ集めて〜って言うのいいよと教えてあげたね。」ⓑ「いやあ、どんぐりも集めていいよ。じゃあ、」ⓐ「じゃあ、」ⓑ「じゃあ、」ⓐ「じゃあ、」ⓑ「じゃあ、」

宝の地図を描いているⓐ(後)。描きはじめ、森へ... オペレッタの「宝はどこ」を歌いながら歩いている。ⓑ「あつて!」(後)「金貨か?」もどらの穴を見つけて「おっ! おっ! おっ!」と喜んで、さらに森へ... (後)「宝があつて!」と言って拾ったのはお母さんの花。(後)「もっとおもしろい花を見つけないかな!」とさらに進む。やがてⓑ「あつて! おもしろい花!」と喜び、命が延びると言われる延命草(エンレイソウ)の群生があつた。思えば大人も歓声をあげてくれた。

ⓐ(平)とⓑと森の中を散歩。朝は泣いていることが多かったⓐが笑顔で歩いている。ⓑ「おっ! おっ! おっ!」と喜び、練習がんばったからだね、どんぐりさんの優しい眼差しを感じた。

どんぐりさんの連休明け疲れもあつたなく穏やかな一日の始まり... 朝の集りに行く。大人が座る場所のそばにある切り株にⓑとⓐがいて、横におもしろいと切り株を自ら運んで(後)ⓑも座り「大人おもしろい人が4人。にこにこおもしろい顔をしていて。ⓐ「手に持っているおもしろい下置(さし)!!」板を拾っていたⓑとⓐがあつた下置(さし)を。ⓑ「これはおもしろいよ〜」と喜び、どんぐりさんとどんぐりさん 奥に持っていく。絵本にたるとおもしろい。満足めにどんぐりさんと席はわけてくれた。

- *15 11月中旬 収穫感謝の集い
- *16 保護者会 9:20～X12ホール
- *17 小さなクリスマスの集い

田んぼのそば。朝田んぼに着て来。①「水田の水が太い田植えの時の水多すぎ!」②「田んぼの水多しと田植えの時もさうか。苗が」とよく賞えている。③「水外に出ると草と雑草を抜いて④は程し⑤「ありか?」外に出るとよく賞えたりか⑥「稲刈り大きにさうなると。二日間田んぼの水は入れずにいりか?」⑦「何にさ?」⑧「水の下に流れるのは出口を開けていりか?」⑨「川が太い流れたら?」と足で道を歩いていりか? さうさ くらりくらり⑩「かごん!」スリはさういりか? 引いてと川が流れる「後林のせつ跡がつかないや?」⑪「何でさ?」⑫「水が流れるから?」と何本も〜⑬「せつ跡で道を作れ!」⑭「はご機嫌!」⑮「はごもせつ」と道いりか? ⑯「後林のせつ跡がつかないからさうさ?」⑰「本日はあつとさうとせつ(あつとさう)⑱「あつとさういりか?」とさういりか? 水が流れていりか? 水が流れる川が太い流れる。全体の水が太い間引いていりか? ⑲「はご。水が太いさうさ!」⑳「はごいりか?」㉑「あつとさういりか?」(あつとさういりか?)

お散歩の日。車道が終り。自由に歩き出ると①(真)②(遥)③(平)④(慶)はびんびん歩き出し。途中の崖で⑤(行)⑥(宗)⑦(宗)⑧(泰)が登り始め。⑨(真)⑩(遥)⑪(平)は。おじいさん真似て挑戦。大きい声は「さうとさう。軍手さう」と4人お準備を整えて、さうさ。最後はかんぱいさう(真)。結局登れなかったのが、泥んこの年を一生懸命7年の草をさういりか?。7年を2本道のさうさ(真)「かご!」と⑬(真)にアッ!。⑭(真)は真似て「かご!」と⑮(真)にアッ!

お二人の体障の日。先週から挑戦していた低い鉄棒の上にさうさ(真)①(真)②(真)③(真)④(真)⑤(真)⑥(真)⑦(真)⑧(真)⑨(真)⑩(真)⑪(真)⑫(真)⑬(真)⑭(真)⑮(真)⑯(真)⑰(真)⑱(真)⑲(真)⑳(真)㉑(真)㉒(真)㉓(真)㉔(真)㉕(真)㉖(真)㉗(真)㉘(真)㉙(真)㉚(真)㉛(真)㉜(真)㉝(真)㉞(真)㉟(真)㊱(真)㊲(真)㊳(真)㊴(真)㊵(真)㊶(真)㊷(真)㊸(真)㊹(真)㊺(真)㊻(真)㊼(真)㊽(真)㊾(真)㊿(真)

「おひびき」と呼んでいる散歩コース。①(真)②(真)③(真)④(真)⑤(真)⑥(真)⑦(真)⑧(真)⑨(真)⑩(真)⑪(真)⑫(真)⑬(真)⑭(真)⑮(真)⑯(真)⑰(真)⑱(真)⑲(真)⑳(真)㉑(真)㉒(真)㉓(真)㉔(真)㉕(真)㉖(真)㉗(真)㉘(真)㉙(真)㉚(真)㉛(真)㉜(真)㉝(真)㉞(真)㉟(真)㊱(真)㊲(真)㊳(真)㊴(真)㊵(真)㊶(真)㊷(真)㊸(真)㊹(真)㊺(真)㊻(真)㊼(真)㊽(真)㊾(真)㊿(真)

うさぎ後真を歩いていりか? ①(真)「うさぎ!」と指さし。さうさ(真)②(真)③(真)④(真)⑤(真)⑥(真)⑦(真)⑧(真)⑨(真)⑩(真)⑪(真)⑫(真)⑬(真)⑭(真)⑮(真)⑯(真)⑰(真)⑱(真)⑲(真)⑳(真)㉑(真)㉒(真)㉓(真)㉔(真)㉕(真)㉖(真)㉗(真)㉘(真)㉙(真)㉚(真)㉛(真)㉜(真)㉝(真)㉞(真)㉟(真)㊱(真)㊲(真)㊳(真)㊴(真)㊵(真)㊶(真)㊷(真)㊸(真)㊹(真)㊺(真)㊻(真)㊼(真)㊽(真)㊾(真)㊿(真)

お散歩の日。車道が終り。自由に歩き出ると①(真)②(真)③(真)④(真)⑤(真)⑥(真)⑦(真)⑧(真)⑨(真)⑩(真)⑪(真)⑫(真)⑬(真)⑭(真)⑮(真)⑯(真)⑰(真)⑱(真)⑲(真)⑳(真)㉑(真)㉒(真)㉓(真)㉔(真)㉕(真)㉖(真)㉗(真)㉘(真)㉙(真)㉚(真)㉛(真)㉜(真)㉝(真)㉞(真)㉟(真)㊱(真)㊲(真)㊳(真)㊴(真)㊵(真)㊶(真)㊷(真)㊸(真)㊹(真)㊺(真)㊻(真)㊼(真)㊽(真)㊾(真)㊿(真)

近くのフェリスと小田原まで行き来てさうさ(真)①(真)②(真)③(真)④(真)⑤(真)⑥(真)⑦(真)⑧(真)⑨(真)⑩(真)⑪(真)⑫(真)⑬(真)⑭(真)⑮(真)⑯(真)⑰(真)⑱(真)⑲(真)⑳(真)㉑(真)㉒(真)㉓(真)㉔(真)㉕(真)㉖(真)㉗(真)㉘(真)㉙(真)㉚(真)㉛(真)㉜(真)㉝(真)㉞(真)㉟(真)㊱(真)㊲(真)㊳(真)㊴(真)㊵(真)㊶(真)㊷(真)㊸(真)㊹(真)㊺(真)㊻(真)㊼(真)㊽(真)㊾(真)㊿(真)

6月ある日のくり・大いさの集り。①「たごちって何?」②「...たごちって...おおん!!」

